

理科 小学校 第6学年

個々の問題の出題の意図及びその正答率

領域	問題番号			出題の意図	評価の観点			正答率
	大問	小問	通番		科学的な思考	観察・実験の技能・表現	知識・理解	
A 生物とその環境	1	1	1	石灰水は、はき出した空気によって白くにごることがわかっている。			○	84.7
		2	2	石灰水にすう空気（まわりの空気）を反応させたときの変化がわかっている。			○	67.3
		3	3	気体検知管の酸素と二酸化炭素の体積の割合の変化から、はき出した空気を集めた袋がどちらであるかを考えることができる。	○			87.2
		4	4	はき出した空気を集めた袋がどちらであるかを、気体検知管の酸素と二酸化炭素の体積の割合の変化をもとにして考え、説明することができる。	○			63.0
	2	1	5	試験管を温めるわけを考えながら、人の口の中ででんぷんがだ液によって消化されることを確かめる実験を行うことができる。			○	88.5
		2	6	ヨウ素液を用いて、でんぷんがあるかないかを確かめることができる。			○	47.6
		3	7	実験結果から、だ液のはたらきについて考え、説明することができる。	○			51.1
		4	8	だ液や胃液など、食べ物を消化する液の名前がわかっている。			○	34.5
	3	1	9	光を当てないでおいだ葉を用いるわけを考えながら、光を当てた葉にでんぷんができていないかを調べる実験を行うことができる。			○	63.0
		2 (A)	10	でんぷんができていない葉、できていない葉をヨウ素液につけたときの結果がわかっている。			○	71.9
		2 (B)	11				○	66.6
		3	12	葉に光を当てたときと当てなかったときの実験結果の違いについて考え、葉に光が当たるとでんぷんができていないことを説明することができる。	○			62.8
C 地球と宇宙	4	1	13	がけの観察記録と結びつけて、地層の様子を考えることができる。	○			92.9
		2	14	観察記録とボーリング調査の結果から地層の広がり方を考えることができる。	○			76.1
		3	15	火山の噴火によって作られた地層に含まれる土の特徴がわかっている。			○	86.3
	5 選択	A	16	地震によって生じる現象がわかっている。 火山の噴火によって生じる現象がわかっている。			○	69.5
		B	17				○	69.9
B 物質とエネルギー	6	1	18	空気を入れかえるために、上と下に空気が入り出す場所が必要であることがわかっている。			○	89.9
		2	19	ものが燃え続けるために必要な条件を考え、それを説明することができる。	○			79.0
		3	20	空気中の気体にしめる酸素の割合がわかっている。			○	68.2
		4	21	「空気中の気体」のものを燃やすはたらきについてわかっている。			○	80.6
		5	22	酸素の量の違いが燃え方に関係することから、燃え方が違うわけについて考えることができる。	○			83.3
		6	23	たえず空気が入れかわるようにしてものが燃え続けるようにする方法を身に付けている。			○	67.7
	7	1	24	水溶液のにおいの安全なかぎ方を身に付けている。			○	76.9
		2	25	リトマス紙を使った水溶液のなかま分けの仕方を身に付けている。			○	82.6
		3	26	水溶液のなかま分けをするときに使うガラス棒の正しい使い方を身に付けている。			○	82.6
		4	27	実験結果から水溶液の名前を予想し、その水溶液の性質について考えることができる。	○			67.4
		5	28	水溶液の性質を調べる実験結果から、水溶液の名前を考えることができる。	○			61.1